

文部科学省私立大学学術高度化推進事業 オープン・リサーチ・センター整備事業
「デジタル時代のメディアと映像に関する総合的研究」

FINAL PRESENTATION

ファイナルプレゼンテーション

文化・芸術研究分野における デジタルコンテンツ制作 とその応用事例

日程 2009.3.1(sun.) 10:00-17:00

会場 立命館大学衣笠キャンパス・充光館2F

■講師 (立命館大学)

細井浩一 (映像学部 教授)
大島登志一 (映像学部 教授)
遠藤保子 (産業社会学部 教授)
田中弘美 (情報理工学部 教授)

■招待講師

Manus Brinkman (Independent Consultant)
加茂竜一 (凸版印刷株式会社)
岩館祐一 (NHK 放送技術研究所)
池内克史 (東京大学大学院 情報学環 教授)
高野明彦 (NPO法人「連想出版」代表・国立情報学研究所 教授)

問い合わせ先 立命館大学 研究部 人文社会リサーチオフィス内 アート・リサーチセンター事務局
〒603-8577 京都市北区等持院北町56-1 TEL: 075-465-8476(平日9:00-17:30) FAX: 075-465-8342
E-mail: m-yama@st.ritsumeai.ac (担当: 山本昌弘)

主 催 立命館大学アート・リサーチセンター

FINAL PRESENTATION

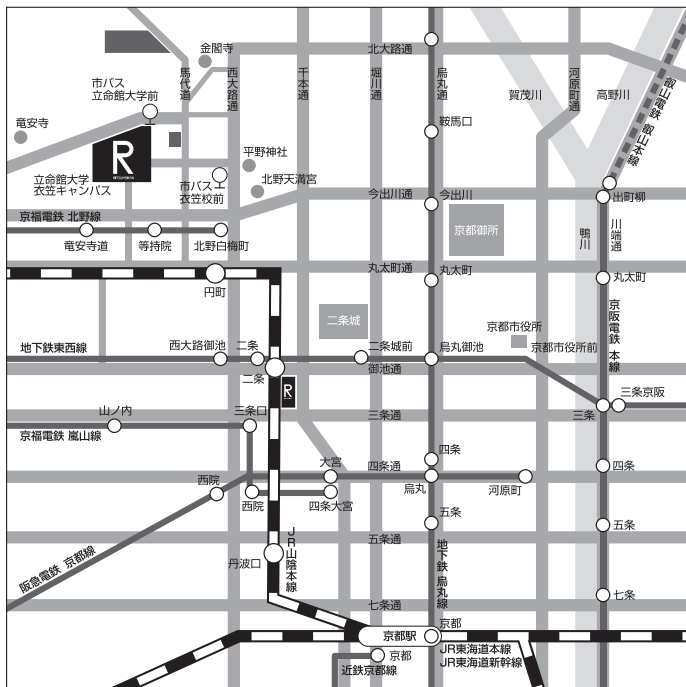
ファイナルプレゼンテーション

文化・芸術研究分野における デジタルコンテンツ制作 とその応用事例

立命館大学アート・リサーチセンターでは、私立大学学術高度化推進事業として、2000年度からオープン・リサーチセンター整備事業を推進し、2005年度から3年間継続研究を実施してきました。

今年度、その全体で8年間にわたる事業の最終年度として、研究成果を国内外に発信する機会を持つこととしました。さらに、このカンファレンスに参加することで、世界の動向も一度に探ることができるように、国内外からの招待プレゼンテーションのセッションも予定しています。

また、同じくアート・リサーチセンターで展開する研究者育成事業、文部科学省グローバルCOEプログラム「日本文化デジタルヒューマニティーズ拠点」(立命館大学)主催の国際シンポジウム、DH-JAC2009(2月27・28日開催)と続けてご参加いただくことで、アート・リサーチセンターの、「デジタル環境の中で先端的に進める」文化・芸術研究を一堂に集め、内外からのご意見・ご助言を頂戴したいと思っています。



- JR・近鉄京都駅、JR円町駅から
- 市バス50/快速205「立命館大学前(終点)」下車
 - 市バス205「衣笠駅前」下車、徒歩10分
 - JRバス「立命館大学前」下車
- 阪急電車西院駅
- 市バス快速202/快速205「立命館大学前(終点)」下車
 - 市バス205「衣笠駅前」下車、徒歩10分
- 阪急電車河原町駅(四条河原町)
- 市バス12/51「立命館大学前(終点)」下車
 - 市バス15/59「立命館大学前」下車
- 京阪電車三条駅
- 市バス15/59「立命館大学前」下車
- 京福電車等持院駅
- 徒歩10分

※駐車場がありませんので、自家用車でのご来場はご遠慮下さい。



問い合わせ先

立命館大学 研究部 人文社会リサーチオフィス内 アート・リサーチセンター事務局
〒603-8577 京都市北区等持院北町56-1
TEL: 075-465-8476 (平日 9:00-17:30) FAX: 075-465-8342
E-mail: m-yama@st.ritsumeit.ac (担当: 山本昌弘)

プログラム

	〈司会・進行〉赤間亮(立命館大学アート・リサーチセンター副センター長、文学部教授)
10:00~10:10	■開会の辞 川嶋将生(立命館大学アート・リサーチセンター長、文学部教授)
10:10~12:10	■セッション1【海外招待講演】
①10:10~11:10	「The Virtual Collection of Masterpieces」 Manus Brinkman (Independent Consultant)
	【学内】
①11:10~11:40	「コミュニティ支援環境としての仮想世界 ～メタバースを利用した居住者コミュニティ形成の可能性と課題」 細井浩一(立命館大学 映像学部教授) 浅田恵佑(立命館大学大学院 政策科学研究科)
②11:40~12:10	「デジタル映像制作教育の高度化に関する研究 ～立命館大学映像学部における事例」 大島登志一(立命館大学 映像学部教授)
12:10~13:30	ランチタイム
13:30~15:30	■セッション2【国内招待講演】
	〈司会・進行〉細井浩一(立命館大学アート・リサーチセンター副センター長、映像学部教授)
①13:30~14:00	「文化財のデジタルアーカイブと バーチャルリアリティによる公開」 加茂竜一(凸版印刷株式会社)
②14:00~14:30	「伝統舞踊の3次元映像アーカイブ生成・表示技術」 岩館祐一(NHK放送技術研究所)
③14:30~15:00	「文化遺産の3次元デジタルアーカイブ」 池内克史(東京大学大学院 情報学環教授)
④15:00~15:30	「検索から連想へ —文化的な情報の蓄積を発想力に換える」 高野明彦(NPO法人「連想出版」代表・国立情報学研究所 教授)
15:30~15:50	【休憩】
15:50~16:50	■セッション3【学内】
	〈司会・進行〉八村広三郎(立命館大学情報理工学部教授)
①15:50~16:20	「デジタルミュージアム実現のための 有形文化財の3次元モデリングとデジタル展示」 田中弘美(立命館大学 情報理工学部教授)
②16:20~16:50	「舞踏と開発教育 —モーションキャプチャを利用したアフリカの ダンス研究と教材開発—」 遠藤保子(立命館大学 産業社会学部教授)
16:50~17:00	■閉会の辞 赤間亮 (立命館大学アート・リサーチセンター副センター長、文学部教授)



「デジタル映像制作教育の高度化に関する研究
～立命館大学映像学部における事例」
大島登志一(立命館大学 映像学部教授)

ランチタイム

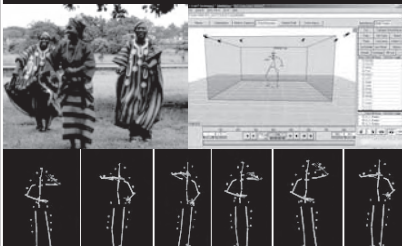
■セッション2【国内招待講演】
〈司会・進行〉細井浩一(立命館大学アート・リサーチセンター副センター長、映像学部教授)

- ①13:30~14:00 「文化財のデジタルアーカイブとバーチャルリアリティによる公開」
加茂竜一(凸版印刷株式会社)
- ②14:00~14:30 「伝統舞踊の3次元映像アーカイブ生成・表示技術」
岩館祐一(NHK放送技術研究所)
- ③14:30~15:00 「文化遺産の3次元デジタルアーカイブ」
池内克史(東京大学大学院 情報学環教授)
- ④15:00~15:30 「検索から連想へ
—文化的な情報の蓄積を発想力に換える」
高野明彦(NPO法人「連想出版」代表・国立情報学研究所 教授)

【休憩】

■セッション3【学内】
〈司会・進行〉八村広三郎(立命館大学情報理工学部教授)

- ①15:50~16:20 「デジタルミュージアム実現のための
有形文化財の3次元モデリングとデジタル展示」
田中弘美(立命館大学 情報理工学部教授)
- ②16:20~16:50 「舞踏と開発教育
—モーションキャプチャを利用したアフリカの
ダンス研究と教材開発—」
遠藤保子(立命館大学 産業社会学部教授)



■閉会の辞
赤間亮
(立命館大学アート・リサーチセンター副センター長、文学部教授)